

ねん がつ にち
2023年1月15日
ねんかんだい しゅじつ
年間第2主日
きくち いさおだい しきょう
菊地 功大司教 メッセージ

すうじつまえ しゅ こうたん よろこ いわ おも てんれい こよみ さき あゆ すす
つい数日前に主の降誕を喜び祝っていたかと思うのですが、典礼の暦は先に歩みを進
め、先日の月曜日は主の洗礼の祝日でした。そこで朗読されたマタイの福音は、イエス
せんれいしゃ みず せんれい う さま びようしゃ
が洗礼者ヨハネから水の洗礼を受けた様を描写するものであります。

つみ え く あらた みず せんれい う つみ
「罪のゆるしを得させるために悔い改めの」水による洗礼を受けることは、そもそも罪
けが せんれいしゃ かみ ひつよう せんれい かみ くる
の汚れのない神であるイエスには必要のないことですが、「その洗礼は神の苦しむしもべ
としての使命の受諾」であり（カテキズム 536）、つみびと じんるい くわ みず つう
罪人である人類に加わることで、水を通
あがな わざ あずか みち ひら みず せんれい こう
じてわたしたちをその贖いの業に与る道を開かれました。水による洗礼はイエスの公
せいかつ はじ つ
生活の始まりを告げています。

きょうろうどく おな で きごと ふ せんれいしゃ ふくいん せんれいしゃ
今日朗読されるのは同じ出来事について触れているヨハネ福音です。そこにおいて洗礼者
じぶん みず せんれい さず かた だれ せんげん
ヨハネは、自分が水の洗礼を受けた方が誰であるのかを宣言しています。

だいいち よ つみ と のぞ かみ こひつじ かみ こ
まず第一にイエスは、「世の罪を取り除く神の小羊」であり、そして「神の子」である
せんれいしゃ しょうげん たんじょう りゆう つみ
と洗礼者ヨハネは証言します。それによってヨハネはイエスの誕生の理由が、罪にま
じんるい すく めいかく
みれた人類の救いのためであることを明確にします。

くわ せんれいしゃ じぶん たち ぼ いまいちど めいかく わたし
さらに加えて洗礼者ヨハネは、自分の立場を今一度明確にします。つまりイエスは、「私
さき かた みずか みず せんれい さず りゆう かた
よりも先におられた」方であり、自らが水の洗礼を受ける理由は、「この方がイスラエ
あらわ せんれいしゃ かみ こ あか
ルに現れるため」であったのです。しかも洗礼者ヨハネがイエスを神の子と証しをした
りゆう じぶん おも みずか はげん しめい しきべつ かくじつ にんしき
理由は、自分がそう思ったからではなく、自らの派遣の使命を識別し確実に認識してい
ししょうげん
たからだとも証言しています。

きょうかい ひつよう げんたいしゃかい せんれいしゃ
いまわたしたち教会に必要なのは、現代社会にある洗礼者ヨハネであることです。わた
じぶん おも つた じぶん ほ たた こうどう
したちは自分の思いを伝えているのではありません。自分が褒め称えられるために行動
せんれい つう しんせい あずか あた
するのではありません。すべては洗礼を通じてイエスの神性に与ったわたしたちに与え
ふくいん つ しめい ほ せんれいしゃ おな
られている福音を告げしらせるとい使命を果たすためであり、洗礼者ヨハネと同じく、
ことば おこな つう げんたいしゃかい あらわ
わたしたちの言葉と行いを通じてイエスが現代社会に表されるようになるためです。
しゃかい みずか ことば おこな いったいなに あか
わたしたちは、社会のなかであって、自らの言葉と行いが一体何を証ししているのか、
いまいちど ふ かえ おも
今一度振り返ってみたいと思います。